

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和2年7月3日（金）10時00分～10時50分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
宇野課長補佐、高松専門職、伊藤係長、市森係員、長崎技術参与、高木技術参与
知見主任安全審査官（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力規制事務所
田中原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当6名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、以下の説明があった。
 - 1号機ガレキ撤去作業時のガレキ落下防止・緩和対策の進捗状況について
 - ✓ 1号機使用済燃料プール（以下「SFP」という。）からの燃料取り出しに向けて、南側崩落屋根等の撤去の際に屋根鉄骨・ガレキ等がSFP等へ落下するリスクを可能な限り低減するため、ガレキ落下防止・緩和対策を進めている。
 - ✓ 本年6月18日に、SFP内の燃料を保護する位置に養生バッグを設置する作業を完了した。今後、SFP西側の支障ガレキを撤去した上で、燃料取扱機支保及び天井クレーン支保の設置作業を年内に実施予定。
 - 2号機SFP内調査結果について
 - ✓ 2号機SFPからの燃料取り出しに向けて、燃料上部及びキャスクピット内の干渉物等の有無並びにプールゲート及びスキマサージタンクの状態を確認するため、本年6月10日及び11日に水中ドローンによるSFP内調査を行った。
 - ✓ 調査の結果、燃料上部に軽微な干渉物、キャスクピット底部に砂状の堆積物が確認されたものの、燃料取り出しに大きな影響を与える課題はないことを確認した。今後、干渉物及び堆積物を除去する方法を検討し、燃料取扱設備の設計や運用等に反映する。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認した。

6. その他

資料：

- 1号機ガレキ撤去作業時のガレキ落下防止・緩和対策の進捗状況
- 2号機使用済燃料プール内調査結果について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況，運転計画（2020年6月26日～2020年7月9日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2020年6月26日～2020年7月2日）

- 各エリア別タンク一覧
- 汚染水等構内溜まり水の状況（2020.6.25時点）
- タンク建設進捗状況
- 実施計画記載期限に関わる進捗状況について（雨水処理設備の先行運用、既設ROの設備改造、止水対策進捗状況）
- 建屋内における残水等の状況について